

ペットツアリズム論 第2回



<講師>

東海林克彦

資料提供・協力：（公社）日本愛玩動物協会

今回の授業で学習すること

<飼い主側の行動ガイドライン>

- 1. ペットの適性
- 2. 旅行の計画
- 3. 移動手段や方法
- 4. 病気やトラブル
- 5. しつけやマナー



B5版 フルカラー 168頁
販売価格：15,000円＋税

この本に、
これが掲載
されていま
す

ペット同伴宿泊ホテルとドッグランの
設計と管理運営指針

I はじめに

II 宿泊施設の設計および管理運

営

III 飼い主編

IV ドッグラン編

1 ペットの適性

- 自分のペットの適性を考えること

※旅行やドッグラン利用が難しいペットもいる

- ペットの種類
- ペットの性格や健康状態
- ペットの数
- ペットホテルやシッター等の利用

ペットの種類

- 種類によって、向き・不向きがある
- 危険な動物の旅行は、慎むべき
- 飛行機の場合は、搭乗が制限されている種類がある
(フレンチブルドッグなどの短頭種など)

ブルドッグ・フレンチブルドッグ



ブルドッグ、フレンチブルドッグは年間通期お預かりできません。
(国際貨物・国内貨物共通)

その他の短頭犬種

下記21種の犬種は、国際貨物の場合で年間通期、国内貨物の場合で夏季期間中（毎年5月1日から10月31日まで）お預けいただけません。

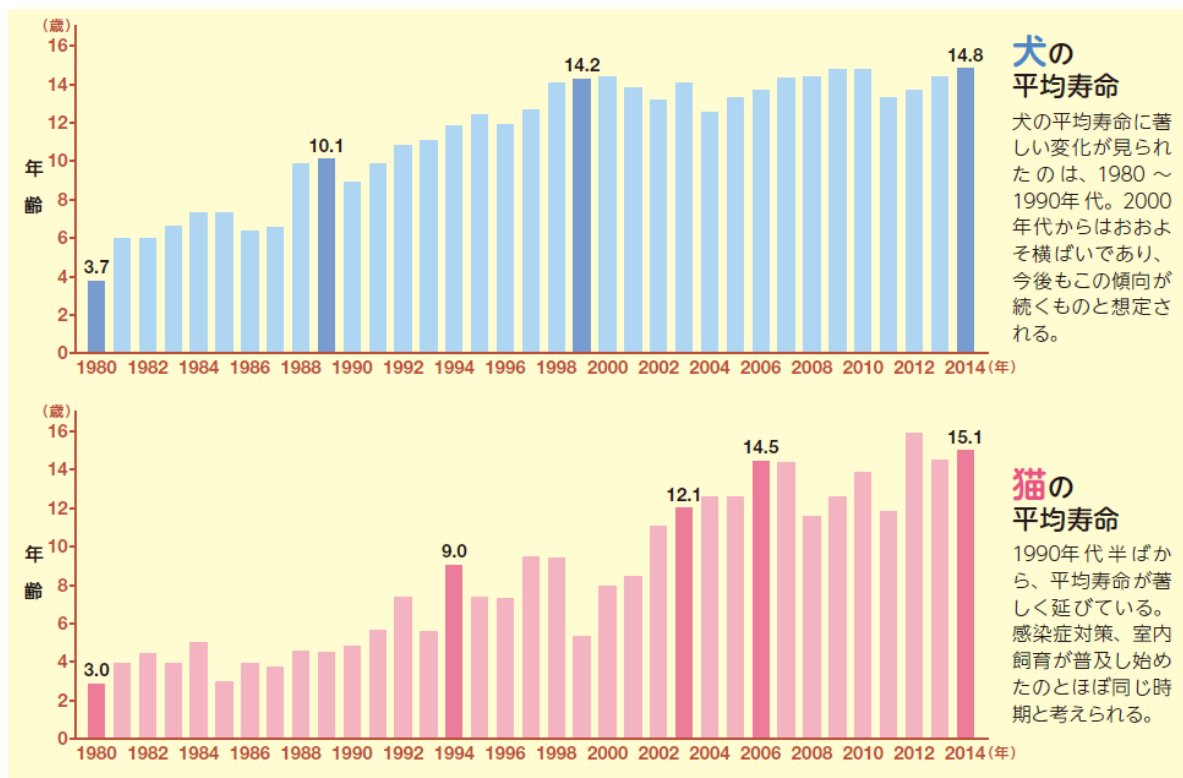
出典：日本航空
HP

ペットの性格や健康状態

■ 慣れない環境は、ストレスを与えることもある

■ 年齢や健康状態などを考慮する

ペットの平均寿命の推移



ペットの数

- 管理が可能な数とする
- 災害などの不測の事態を考えておく



ペットホテルやペットシッターの利用

- 一緒に旅行が難しい場合は、ペットホテルやペットシッターの利用も考える

- ペットホテル
 - ・ペットの預かり施設
 - ・他のペットと一緒にになるので向いていない
ペットもいる
- ペットシッター
 - ・自宅にトイレやご飯の世話をしに来てくれる

ペットホテル、ペットシッターの例

ペットホテル

預かり

ハウスタイプ

ペットのサイズにより広さが異なり、料金は12時間3,000～5,100円、24時間4,000～6,800円。飼い主と決めたスケジュールに沿ってハウスから出し、散歩や遊び、そのほかのケアを行う。



ペットシッター

打ち合わせ



初回の打ち合わせでは、ペットの生活状況、留守中のケア内容とともに、ペットの性格や行動を詳しく伝える。外出中の連絡先、連絡可能時間なども確認。問題なければ鍵を預け、開錠法を説明する。

食事



★ 参考 小型犬は外での運動が不要？

社会化訓練は、「ハズバンドリートレーニング」と言われることも

生後3週齢

生後8週齢

生後12週齢

社会化前期

- ・母犬、きょうだい犬と一緒に過ごし、遊ぶことで、犬の習性を身につける。
- ・犬同士のコミュニケーションがとれるようになる。
- ・ブリーダーなどのもと、人が仲間だということを学ぶ。

＼ 犬同士で学習すること ／

- ボディランゲージ
- 優劣行動
- 威嚇行動
- 性行動 など



母犬やきょうだい犬と過ごす

社会化後期

- ・新しい飼い主や家族、そのほかの人が仲間だと理解する。
- ・さまざまな状況に身を置いても、恐れる必要がないことを理解する。

＼ 犬に慣れさせること ／

- 家族、同居のペット
- いろいろな生活音 (雷、掃除機など)
- いろいろな環境
- ほかの犬、家族以外の人 など



新しい飼い主のもとで過ごす

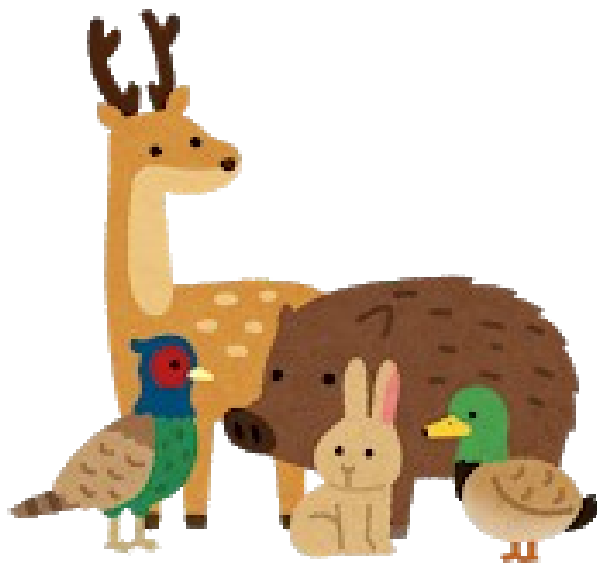
2 旅行の計画

- 下調べや情報収集は綿密にする
- 十分な時間的余裕を持ったスケジュールにする

- 季節や場所の選択
- 探し方(情報源)
- 休憩
- 携行品
- 宿泊先の下調べと選択
- 周辺の観光施設

季節や場所の選択

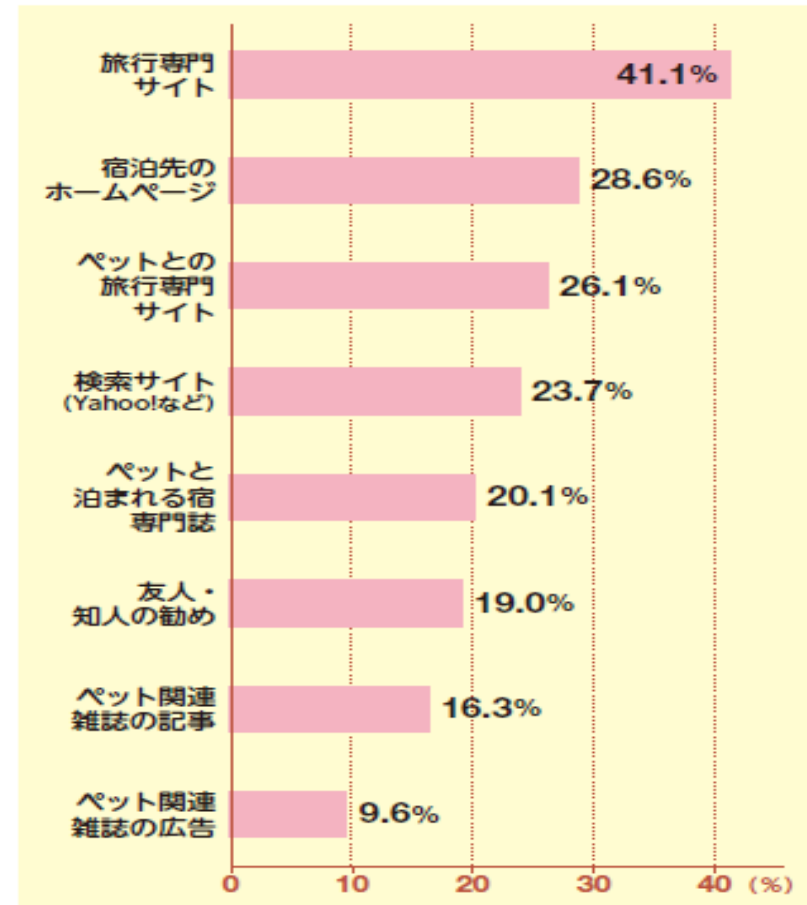
■ ペットのストレスになる場所を避ける



探し方(情報源)

旅行専門サイトや口コミを利用する人が多い

ペット同伴の宿泊先探しの方法



(「ペット同伴旅行に関する調査レポート」藤野宇一郎(株式会社ぐらんぼう)、2012より引用)

検索
サイト

ペット宿ドットコム



ペットと旅行をするための総合情報サイト。情報数800軒以上。

ペットと泊まれる宿 (楽天)



日本最大級の旅行予約サービス「楽天トラベル」の予約・情報サイト。

ペットと泊まれる宿 (じゃらんnet)



旅行サイト「じゃらんnet」の、ペットの飼い主向け予約・情報サイト。

ペットと泊まれるプラン (Yahoo!トラベル)



ヤフートラベルサイト内の、ペット旅行のための予約・情報サイト。

ペットと泊まろう! (るるぶ)



るるぶが提供する全国の宿・ホテル・旅館の予約・情報サイト。

ペットと泊まれる宿 (ドッグカフェ.jp)



500軒以上の宿泊施設を掲載。実際に利用した人の口コミも確認できる。

JTB 「ペットと泊まれる宿」



JTBホームページ内の、ペット旅行のための予約・情報サイト。人気の宿やJTB社員の体験記も紹介。

近畿日本ツーリスト 「うちのコと一緒に」



近畿日本ツーリストによるペット同伴宿泊施設情報。店舗での相談・予約も可能。

西武グループ 「ペットスマイルプロジェクト」



プリンスホテルなど西武グループの宿泊施設で、愛犬と泊まれる施設・サービス情報を紹介。

旅行会社
／ペット
同伴企画

その他 書籍・ムック

ペットと泊まれる宿泊施設を多数掲載した、書籍・ムックも例年刊行されている。

- 「ワンちゃんネコちゃんペットと泊まる宿」(実業之日本社)
- 「まっぷる お散歩も泊まりもペットといっしょ」(昭文社)
- 「るるぶ ペットとおでかけ」(JTBパブリッシング)
- 「わんことプチ旅行」(芸文社)

休憩

- こまめな休憩が必須
- 高速道路の SA にも
ドッグランが急増中



携行品(犬の場合の必要な持ち物)



宿泊先の下調べと選択

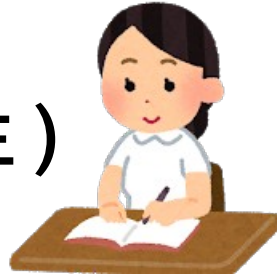
■ 一定の条件やルールがあるので、次の事項の確認が必要

- ① 宿泊できる種類・大きさ
- ② ペット禁止エリアの有無
- ③ 常備されているアメニティグッズ
- ④ 部屋の位置

★ 粗相が心配な場合はマナーベルトも検討

学生と先生の間答コーナー

質問（学生）



「マナーベルト」って、何ですか？



回答（先生）



犬の「おむつ」です。
泌尿器の部分をベルト状の布
や紙で覆うもので、オ
シッコをまき散らさないよう
にするためのものです。

宿泊条件、ペットの禁止エリア



宿泊できる動物の種類・ 大きさ・頭数

「小型犬のみ」「7kg以下」「大型犬・猫は不可」「2頭まで」などの条件を確認しましょう



ペットNGエリアはどこか

レストランには一緒に入れるか、ロビーを歩かせることができるか、部屋の中での制約はあるか、などを確認します

アメニティグッズ、部屋の位置



ペット用アメニティグッズ

食器、ペットシート、ペット用ベッドなど、常備品の有無を確認しておく、荷物を減らすことができます



部屋の位置

人が通ると吠えやすい犬の場合は、フロアの奥の部屋にしてもらえば、吠えるリスクを軽減できます

周辺の観光施設

- 宿泊施設
- 飲食店
- お土産屋
- 公園
- ロープウェイ等



3 移動手段や方法

- 適切な移動手段を選択し、熱中症や車酔いに注意する
- 車の場合は衝突時の対策を講じておく
- 公共交通機関の場合は周りの人への配慮を怠らない
 - ※特にペットが嫌いな人もいることへの留意が必要

■移動手段の選択と利用方法

- ・電車、バス、飛行機、フェリー、レンタカー

■迷惑防止や事故への備え

移動手段の選択と利用方法 電車

- 手回り品として同乗は可能
- ただし、大きさや重さに制限
- 追加料金が必要な場合も



移動手段の選択と利用方法 バス

- 手回り品として同乗は可能
- ただし、キャリーバッグに入れる必要あり
- 夜行便や高速バスでは禁止の場合も



バッグから頭が出た状態で公共の乗り物に乗せてはいけません

移動手段の選択と利用方法 飛行機

- 原則として、貨物室での預かり
- 特別なツアーでは、客室での同乗も可能
- 海外の航空会社では、同乗可能なところも



写真出典：日本航空

移動手段の選択と利用方法 フェリー

- 車ごと乗船で、ペットは車の中で待機
- 一部の会社では、船内への同伴も許容



写真出典：さんふらわ
あ

移動手段の選択と利用方法 タクシー

- 原則はペットの乗車可能
- ただし、キャリーバッグに入れる必要あり
- 最近では、ペット専用タクシーも登場



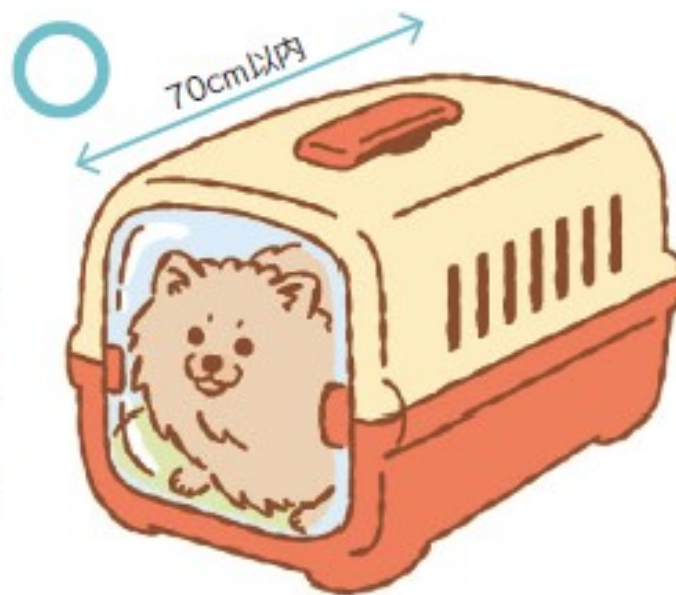
移動手段の選択と利用方法 レンタカー

- ペットの同乗が可能なレンタカーもあり
- ただし、事前予約やキャリーバッグに入れておくなどの制限がある場合も

移動に向いているキャリーバッグ

ハードタイプの
キャリーバッグ
(クレート)

電車に乗せるときも、車での移動にも、体が安定するハードタイプのキャリーバッグがおすすめ。長さ70cm以内、縦・横・高さの合計が90cm程度。ペットを入れた合計の重さは10kg以内



移動手段の選択と利用方法 マイカー

- もっとも一般的に利用されている移動手段
- しかし、安全かつ快適なドライブとするための留意事項は多数あり
- クレートに入れるなどの方法が適切
- こまめな休憩も重要



安全運転のためにも、犬はクレートなどに入れて乗車させましょう

マイカーに同乗時の留意事項



車内に残す

ペットだけを車内に残して買い物や食事に行くのは、熱中症や事故のリスクが非常に高いので厳禁です



膝の上に抱っこ

運転に集中できず、危険運転とみなされます。同乗者が抱っこすることも、急ブレーキなどでペットがケガをすることがあるのでやめましょう



窓から顔を出す

脱走や落下のおそれがあり、非常に危険です。走行中はドアロック、ウィンドウロックをかけます

★ 公共交通機関の利用とキャリーバッグ

- キャリーバッグに入れることが原則
- 普段から、キャリーバッグに慣らしておくことが必要



移動用としてハードキャリーも用意しておきたい

迷惑防止や事故への備え

- ペットが嫌い、アレルギーがあるなどといった人がいることへの配慮が必要
- マイカーの場合も、衝突事故に備えて、クレートの中に入れるなどの措置が必要



○ クレートに入れて 後部座席へ

ペットをクレートに入れ、シートベルトで固定します。後部座席のほうが安心（助手席だと万が一衝突したときに、エアバッグの衝撃でケガをすることがあるため）

4 病気やトラブル

- 健康管理については普段以上に徹底する
- 万が一の事故やトラブルに備える

- 必要とされる主な健康管理や予防対策
 - ・熱中症、車酔い、感染症
- 緊急時の備え

熱中症(必要とされる健康管理や予防対策)

- 犬や猫は汗をかいて温度調整ができない
- 犬は暑さに弱いので熱中症になりやすい
- 車の中は特に危険な場所

熱中症予防のポイント

車移動の際は1～2時間おきに休憩をとり、犬をクレートから出してリフレッシュさせます。水分補給もこまめに行います



熱中症の症状

激しいパンティング(ハアハアと呼吸する)、舌が異常に赤い、大量のよだれ、ふらつきなどの症状は熱中症のサイン

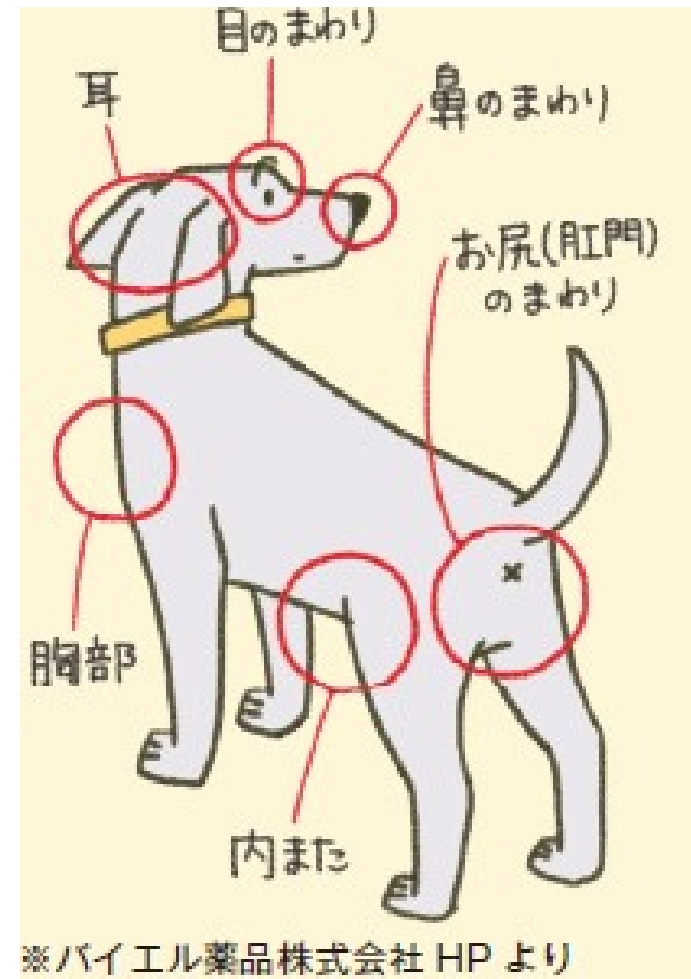
車酔い(必要とされる健康管理や予防対策)

- 犬は車酔いする個体が少なくない
- クレートに入れたり、急発進等を避けるなどの工夫が必要
- 動物病院で車酔いの薬を処方してもらう方法もある



ノミ・ダニ(必要とされる健康管理や予防対策)

- 春から秋は発生しやすい時期
- 予防薬の投与である程度は防止できる
- ノミやダニにより、感染症にかかることも



マダニが寄生しやすい場所

感染症（必要とされる健康管理や予防対策）

- マダニが媒介する感染症に注意が必要
- 多くは、人にも感染する「人と動物の共通感染症」であることも

■ 主な犬の感染症

地域	病名	主な原因
北海道	ライム病	マダニが媒介するボレリアという細菌が原因。
	エキノコックス症	キタキツネなどの糞に含まれる虫卵が原因。中間宿主である野ネズミを媒介にして犬に感染する。
関東より西	日本紅斑熱	マダニが媒介するリケッチアが原因。
関東～九州	ツツガムシ病	ダニの一種・ツツガムシが媒介するリケッチアが原因。
近畿地方～九州	バベシア症	マダニが媒介するバベシア原虫が原因。
	エールリヒア症	マダニが媒介する細菌が原因。

※これらの地域以外でも感染の可能性はあります。

学生と先生の問答コーナー

質問（学生）



「人と動物の共通感染症」って、何ですか？

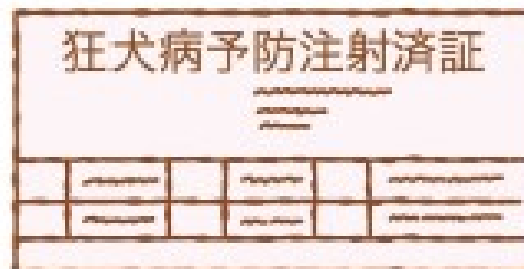
回答（先生）



動物から人へ、人から動物へ、と感染する病気を「人と動物の共通感染症（ズーノーシス）」といいます。WHO（世界保健機構）によると、世界には約 800 種の「人と動物の共通感染症」があるとされています。正しい知識をもち、接し方も適切にする必要があります

緊急時の連絡先のチェック(緊急時の備え)

- 休日・夜間対応病院の連絡先を調べておく
- ペット保険の保険証を持参する



狂犬病予防注射 済票・混合ワクチン 接種証明書

宿泊施設、ドッグラン、ドッグカフェなどを利用するときに提示を求められることがあります。原本ではなくコピーで代用できる場合もあります

ケガの防止(緊急時の備え)

- 野外には危険な場所がたくさんある
- ノーリードにしないことが大切



逸走(迷子)の防止(緊急時の備え)

- ちょっとした隙に逃げ出す事例が多々あり
- リード、名札、マイクロチップを

鑑札

各市区町村に登録をしたときに交付される標識。登録番号によって身元がわかるようになっています



迷子札

鑑札で身元を知るには行政への照会が必要ですが迷子札に連絡先が書いてあれば一目瞭然です

注射済票

狂犬病の予防注射を受けた証明。これがないと、ドッグランなどが利用できないことがあります



迷子札

首輪や迷子札がないと、ノラ猫と見分けが付きません

帰宅後の体調チェック(緊急時の備え)

- ケガやダニを入念にチェック
- 感染症の潜伏期間にも注意



5 しつけやマナー

- 外出先では「しつけ」が普段以上に重要になる
- マナーを守り、周りの人や他のペットへ配慮を怠らない

- しつけと飼い主のマナー
- 同伴旅行に向けた順化訓練



しつけと飼い主のマナー

- ペットのしつけが重要
- また、飼い主のマナーもそれ以上に重要
- ペットが嫌いな人がいることに配慮すること



犬の散歩の時のマナー

散歩のマナー

「散歩＝トイレタイム」と考える人が多いようですが、近隣トラブルを避けるためにも、なるべく排せつは外出前に済ませてから散歩しましょう。外でしか排せつできなくなると、天気が悪いときや、犬が高齢になり足腰が立たなくなったときなどに苦労します。言うまでもなく外でウンチをしたら必ず拾って持ち帰ります。

オシッコは水で流す

なるべく道路脇でさせ、終わったら水をかけて流します。ペットシートの上でオシッコをさせるのも良い方法です



お出かけバッグ

ウンチ袋、マナーポーチ、ティッシュペーパー、ペットシート、水。散歩に限らず、犬と外出するときには持ち歩きましょう



犬の行動をコントロール

一人で制御できない頭数を散歩させるのは危険です

ウンチはペットシートで

犬がしゃがんだらペットシートなどで受け止めます。地面を汚した場合にはティッシュペーパーで拭き取ります



リードを短く持つ

両手でしっかりと短めに持ちます。ロングリードや伸縮リードは普段の散歩には不向きです。引っぱり癖をつけないようにしつけましょう

ドッグランの利用マナー

トイレを済ませてから入場

入場前に排せつを済ませるのがマナー。場内で排せつしてしまったときには速やかに片づけます

マーキング癖がある場合

マナーバンドやマナーパンツを着用させましょう



出入りに注意する

脱走防止対策の二重扉を開けっ放しにしないように注意します

オヤツやおモチャを持ち込まない

ほかの犬と取り合いになることがあるので、持ち込まないようにします

勝手によその犬にさわったり、

写真を撮ったりしない

よその犬とふれ合うときには、飼い主に許可を取りましょう

ドッグランのマナー

犬を自由に遊ばせることができるドッグランは、たくさんの犬と飼い主が集まり、トラブルが発生しやすい場所でもあります。そのため、さまざまなルールが決められています。トラブルを避けるためにはルールを必ず守り、いつも以上にマナーに気を配る必要があります。犬同士のケンカを回避するためにも、愛犬から目を離さないでください。

利用を避けるケース

ヒート中（発情期）のメス、感染症にかかっている犬、咬み癖がある犬などは利用を避けましょう

いきなりリードを外さない

場内ですぐにリードを外すと、興奮してほかの犬とトラブルになることも。様子を見て、慣れてきてから外します



レストランなどでのマナー

ドッグカフェのマナー

愛犬連れて飲食やおしゃべりが楽しめる、飼い主の憩いの場。みんなが気持ち良く利用できるように、入店ルールとマナーを守りましょう。利用を避けたほうがよい条件はドッグランと同様です。鳴いたり騒いだりしたときは、周りに迷惑をかける前に、店外に犬を連れ出して様子をみます。どうしても落ち着かないときには、精算してカフェを出るのもマナーです。

犬は足元に座らせる

床にカフェマットを敷き、足元に座させます。ペットシートを敷くのは、犬がトイレと認識して排せつしてしまう可能性があるのをやめましょう

抜け毛予防の配慮を

洋服を着せておくと、抜け毛の飛び散りが防げます



犬から目を離さない

飲食やおしゃべりに夢中になって、愛犬から目を離さないようにしましょう

リードを固定する

リードフックにかけるか、手で握っておきます。ほかの利用客のじゃまにならないようにリードは短めに

犬のフードや水は床に

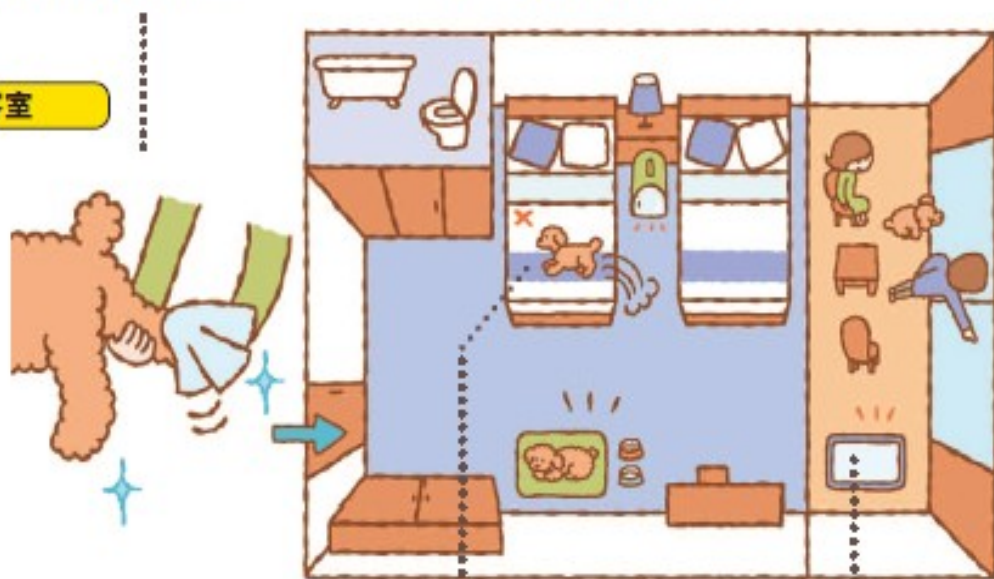
犬が顔や足をテーブルに乗せないようにします。犬の食べ物や水も床に置きます

ホテル等での利用マナー

入室前に犬の足を拭く

部屋に入る前に犬の足を拭きます。玄関で靴を脱ぐ宿なら、足を拭いてから入るのがマナー

客室



ウンチ袋は持ち帰るか指定の場所へ

指定の場所がある場合はそこに捨て、なければ持ち帰ります。客室のゴミ箱に捨てるのはマナー違反

ベッドや布団の上には乗せない

ベッドに乗せることを禁止しているところがほとんど。OKの場合もタオルやシーツを敷いて抜け毛対策を

ペットのトイレを用意

ペットシートなどをセットし、トイレの場所を教えます。トイレトレーニングが不完全な場合は、マナーベルトやマナーパンツを利用します

退室時は汚れがないか確認

粗そうをした場合はスタッフに伝えます。粘着ローラーで抜け毛を取り、消臭スプレーでニオイを消します

宿泊施設のマナー

ペット専門型施設でも混在型施設でも、ほかの宿泊客に迷惑がかからないよう、細心の注意を払います。ペット同伴禁止エリアの有無など、事前に確認しておきましょう。同伴不可のレストランに行くときや入浴などで部屋を離れるときは、ベッドだけを部屋に残さず、誰かがそばについているようにします。どうしてもベッドだけになる場合は、キャリーバッグなどに入れましょう。

共用スペース



リードを着ける

必ずリードを着け、短めに持ってコントロールします。ペット同伴レストランのマナーは、ドッグカフェと同じです

学生と先生の間答コーナー

質問（学生）

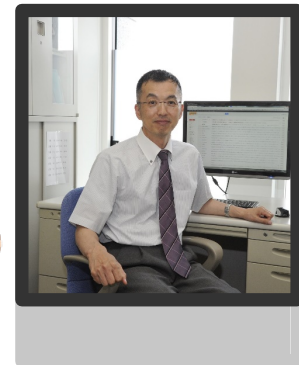


色々なマナーがあるんですね。
どのように勉強をしたら良いですか？



A4版 フルカラー 36頁
販売価格：700円＋税

回答（先生）



そうですね。初心者向けのものとしては、公益社団法人日本愛玩動物協会が発行している「これだけは知っておきたい飼い主のマナーハンドブック」が良いかもしれません。ビジュアルに分かりやすく書かれています。

同伴旅行に向けた順化訓練

- 「慣れ」なしでは、同伴旅行は困難
- 普段から、少しずつ慣らしていく

